



稲を大切に刈り取る児童

### 稲刈り楽しく ～藤里学園児童、初体験～

藤里学園の5年生15人は9月25日、地元農家の圃場で稲刈りを体験しました。農業への関心を高めてもらうため、食育活動の一環として行われているもので、5月に田植えした圃場で、鎌を使って初めて稲の手刈り作業を行いました。農家の指導を受けながら、児童は初めて持つ鎌に戸惑いながらも順調に刈り進め、稲刈りを楽しんでおりました。刈り取った稲は精米した後、1kgずつ児童に配る予定で、新米を食べるのを楽しみにしております。

(表紙：藤里学園5年生児童)

### 米づくりを身近に ～ニツ井小稲刈り体験～

ニツ井小学校5年生は10月3日、青年部ニツ井支部の部員が管理する圃場で稲刈り体験学習を行いました。地域貢献活動・食農教育活動の促進として「米づくりを身近に感じてほしい」と青年部員が講師となり、児童たちに稲刈りを教えました。ニツ井小は総合的な学習の授業として、田植えから収穫までの経過を観察し、稲刈り体験を行ったもので、参加した児童は「サクサク刈れて楽しい」と、鎌の扱いに注意しながらも稲刈り体験を楽しんでいました。



青年部員の指導で稲刈りを満喫する児童



ベスト4に入った向能代ファイターズスポーツ少年団

### JA共済学童野球大会 ～向能代ファイターズ 準決勝で惜敗～

第21回JA共済学童野球大会が9月30日、10月1日の両日秋田市で開かれ、当JA代表として出場した向能代ファイターズが準決勝で惜敗したもののベスト4入りしました。JA共済の地域貢献活動の一環として開催されているもので、県内12JA代表チームのスポーツ少年団の児童が参加し、熱戦が繰り広げられました。開会式では主将の山崎大河くんが力強く選手宣誓を行い、大会がスタート。保護者らの応援も熱が入り会場は熱気に包まれていました。試合結果は次のとおり。  
○2回戦（1回戦シード）  
向能代ファイターズ7ー6 森吉野球（JA秋田たかのす）  
○準決勝  
天王ヴィクトリースJA秋田なまはげ4ー2向能代ファイターズ



選手宣誓を行った主将の山崎くん



さつまいもの生育状況を学ぶ児童

### 農業の大切さを伝えたい ～淳城西小畑作体験～

女性部能代支部は9月28日、淳城西小5年生を対象に今年度4回目の畑作体験を行いました。当日はさつまいもとねぎの収穫体験の予定でしたが、天候不順により、資材倉庫内の農業の課外授業に変更し、さつまいもとねぎの生育について、女性部と農業技術センター長が説明し、児童たちは農業の大切さを学びました。また、女性部は29日に収穫したさつまいもを学校で「蒸かしいも」と「大学いも」に調理し振る舞い、児童たちは笑顔で頬張っていました。



カウンター（窓口）で窓口対応を実演

### 共済窓口コンテスト ～対応力向上へ～

全共連主催の全県スマイルサポーター窓口対応コンテストが9月20日行われ、当JAから本店とニツ井支店の共済窓口担当者が参加しました。日常の窓口業務で培った知識を発揮して、顧客対応力・セールス力の向上を図ることを目的とし実施。外部委託した審査員が各店舗を訪問し、実際に業務を行っている窓口で実践ロールプレイングを実施し評価を受けました。実施内容の講評や優良事例は11月に全体共有を図ることになっており、更なる窓口対応力向上に取組んでまいります。

### 県JA女性大会・家の光大会 ～活動の輪拡大へ～

秋田県JA女性大会並びに秋田県家の光大会が9月12日開催され、当JA女性部から18名が参加しました。JA女性組織が、積極的に地域・JAとともに活躍し続けるよう、県内の活動事例や家の光記事活用発表を通じて取り組みを学ぶとともに部員の意思を結集する場として開催されているものです。県内5JAの女性部員より女性組織活動の体験や、雑誌「家の光」の記事活用体験が発表され、一層活動の輪を広げることが確認しました。



綱領唱和を唱える女性部員

### 受検組合長会議 ～米の概算金報告～

受検組合長会議が9月14日、管内3地区で一斉に開催されました。会議では令和5年産米の概算金・買取価格を説明した後、刈取り適期の目安を呼び掛け、各項目に従い留意点などを確認しました。令和5年産米の概算金は、1等60kg当たり「あきたこまち」が、前年より千二百円増の一万二千三百円、買取米を一万二千六百円としました。当JAでは生産者の力を結集して、令和5年度の集荷目標24万俵の達成に向け取り組んでおります。



米の全量集荷に向けあいさつする組合長